



百花繚乱

十和田市秋まつり

十和田市の秋まつりは、新渡戸傳（つとむ）が三本木原台地への上水成功により稲荷神社を建立し、江戸時代末期の祭礼から集客を目的に始まったといわれています。行列の先頭を行く神社の神輿（みこし）は、傳・十次郎親子が奉納したものです。
 9月12日から14日の日程で行われた秋まつりは、延べ29万5千人の人でにぎわいました。

